

### 【全体概要】

県産ブランド「博多和牛」は、ブランド力強化に向け、更なる肉質及び知名度の向上が望まれている。このため、県外の繁殖農家における素牛育成段階から肥育農家での飼養出荷までの飼養期間を通じた一貫的早期出荷技術の確立に取り組み、生産性、品質の向上を図る。

### 新品種・新技術等の概要

- 博多和牛：H18に県のブランド化推進対象品目に指定
- 規格：3等級以上の和牛

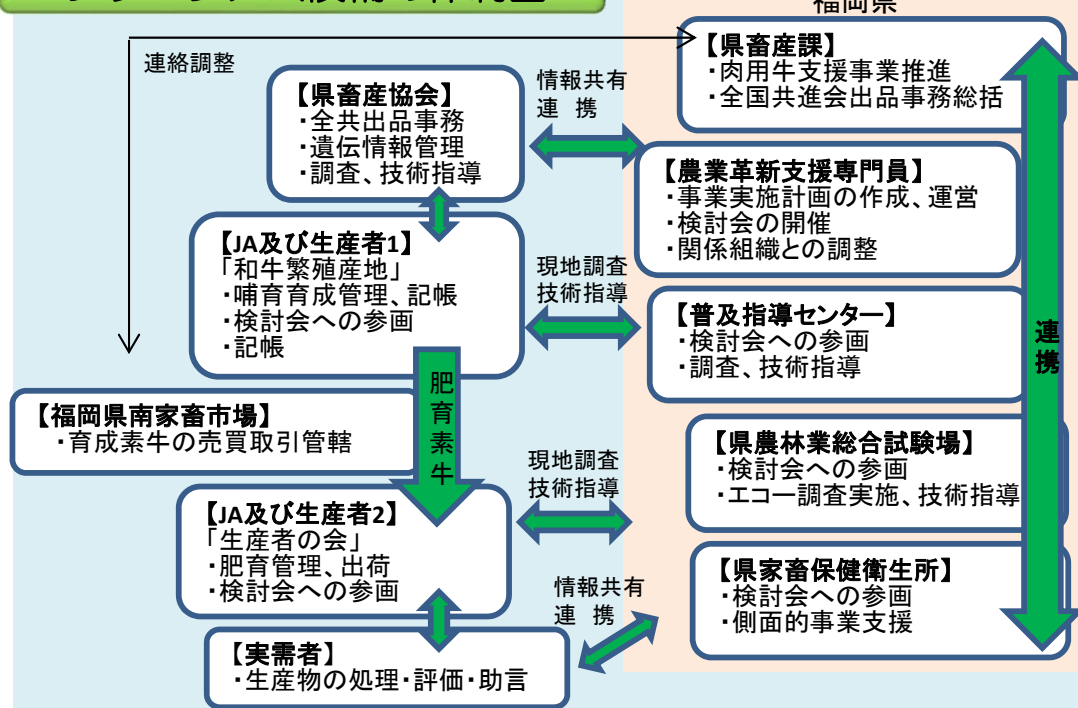
- 肥育期間短縮・早期出荷技術(素牛育成)
  - ・十分な代用乳給与量の確保(1kg以上)
  - ・濃厚飼料(スターター)の先行給与
  - ・育成期後半の粗飼料多給など
  - ・早期の6月齢から肥育農家で飼養管理



### 主な取組内容

- 【繁殖農家現地調査実施】  
早期育成技術検討のための繁殖農家飼養管理・発育調査
- 【肥育農家の早期肥育状況調査】  
肥育期間短縮による中後期発育状況と出荷成績を調査分析
- 【県内向け子牛せりの開催】  
博多和牛県内一貫生産を検討する早期育成子牛の県内向けせり(6月齢)を開催
- 【技術指針作成】  
調査結果から和牛子牛の早期育成と、早期肥育出荷に向けた技術指針を作成

### コンソーシアム候補の体制図



### 実績と今後の展開

- 【実績】
  - 取り組んだ技術により和牛子牛の早期育成と、肥育農家における早期肥育が可能な事を確認し、適正飼養管理のための技術指針を作成。
  - 事業を通して県内和牛繁殖農家、肥育農家間の情報交流が喚起。
- 【今後の展開】
  - ブランド振興のための県内連携と肉質向上の強化。